

2025年度（医学研究科博士課程）講義科目コンピテンス・コンピテンシー

教科課程																											
1～2年次												2年次		3年次		4年次		1～4年次									
		全体選択数				共通教育科目										特別研究				研究特論							
						(基盤教育)										(専攻分野教育)		(専門分野教育)									
		必修	必修	必修		選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	必修	必修	必修	必修	必修/選択									
		対象外	レベルC (初期レベル)	レベルB (中間レベル)	レベルA (最終レベル)	修了時コンピテンシー				研究方法論	橋渡し研究・産学連携概論	ベーシックセミナー	医学英語	がんのベーシックサイエンス	緩和医療学	臨床免疫学概論	先端生命・医療画像技術特論	地域・政策医療学	生命科学解析手法概論	脳のベーシックサイエンス	大学院セミナー	特別研究Ⅰ	特別研究Ⅱ	特別研究Ⅲ	各専攻分野 研究特論		
	コンピテンス項目																										
1	医学的知識		1	11	2	1	革新的な医療を立案・遂行するために必要な、基礎、臨床（応用）さらには学際的な分野にいたるまでの、幅広い知識を身につけている。				C	C	C	—	C	C	C	B	C	C	C	C	C	B	A	各科目毎の達成度はシラバス参照	
2	情報収集力		1	11	2	1	最新の生命科学ならびに医学研究の動向について、継続的に情報収集をし、解析を続けることができる。				C	C	C	—	C	C	C	C	C	B	C	C	C	C	B		A
3	課題解決力		3	10	1	1	医療や生命科学研究の分野で、新たな課題を現実の問題から見いだすことができる。 課題解決に向けて自ら研究を計画・立案し、遂行できる。				C	C	C	—	C	C	C	—	C	—	C	C	C	C	B		A
4	情報発信力		2	10	2	1	自らの思考、判断の過程や結果を論理的に説明し、的確に記述することができる。				C	C	C	B	C	C	C	—	C	—	C	C	C	C	B		A
5	コミュニケーション力		2	10	2	1	自らが見出した新知見を国際的に紹介し、討議できる。				C	C	C	B	C	C	C	—	C	—	C	C	C	C	B		A
6	医療・医学への貢献	医師	4	3	7	1	医師として、その診断や治療能力を活かして地域医療の向上に参画できる。				C	C	—	—	B	B	B	—	B	—	B	B	C	B	A		
		研究者	4	3	7	1	研究者として、その科学的技能を活かして生命科学の進歩に貢献できる				C	C	—	—	B	B	B	—	B	—	B	B	C	B	A		
7	医療・医学研究倫理		4	9	1	1	高い倫理性を持って、高度医療や医学研究を遂行できる。				C	C	—	—	C	C	C	—	C	—	C	C	C	C	B		A
8	人材育成力		2	11	1	1	次世代の人材育成に貢献できる。				C	C	—	C	C	C	C	—	C	C	C	C	C	C	B	A	

【レベルABCの判定基準】

- ※レベルA：コンピテンシー達成のレベルに位置する
- ※レベルB：コンピテンシー達成の中間レベルに位置する
- ※レベルC：コンピテンシー達成の基本（初期）レベルに位置する
- ※対象外(－)：修得の機会が無い

進捗状況の審査		
2年次	3年次	4年次
初期 審査	中間 審査	最終 試験
(非公開)	(非公開)	(公開)
(研究計画調書の審査)	(研究進捗疊用の審査)	(論文投稿)
C	B	A
C	B	A
C	B	A
C	B	A
C	B	A
－	－	A
－	－	A
C	B	A
－	－	－